



南島原市長 松島世佳

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、すがすがしい新年をご家族おそろいでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日ごろから、市政に対して温かいご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

南島原市が誕生して3年9カ月、4回目のお正月を迎えることができました。私は例年、今年を大切にしなければ、明るい来年はない、と自分に言い聞かせ、新たな気持ちで一年をスタートしています。

さて、新年からうれしいニュースが2つあります。一つ目は、東京に本社のある日本

トータルテレマーケティング株式会社の子会社誘致の内定をいただいたことです。これは、本市深江町にお客様センターを本年5月1日に約200人体制で開業し、平成24年度までに300人体制まで拡大されるという内容です。

二つ目は、1月11日から1年間、毎週月曜日に市川森一先生（諫早市出身）による原城の小説が長崎新聞に掲載されることになったことです。小説の題名は「幻日（げんじつ）原城防絵図」で、有馬の地が歴史上もつと輝いていた時代から物語はスタートするそうです。南島原市の歴史を感じていただける作品であると確信していますので、私自身、今から、連載が始まるのを期待して待っています。市民の皆さまもぜひ楽しみにしてください。

武岩、「龍石海岸」、「布津・深江断層」などの地質遺産、「旧大野木場小学校被災校舎」、「土石流被災家屋保存公園」の災害遺構など、多くのジオサイトが含まれています。今回の加盟・認定を通して、市内外の交流が活発になり、地域を愛する心が育つことを期待するとともに、ひいては、島原半島地域の活性化につながるものと確信しています。市としても、地質遺産を中心とした自然、文化などの見どころを巡る旅「ジオツアー」の実施や、案内を行うガイドの養成などに取り組み、本市の魅力をさらに伝えていきたいと考えています。

また、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けて、南島原市にある「原城跡」、「日野江城跡」、「吉利支丹墓碑」の顕彰、整備など、長崎県をはじめ、関係市町とともに取り組みを強化します。

ところで昨年末に、交通弱者の移動手段を確保する目的で「乗合タクシーの実証運行」を実施したところ、無事終了することができました。今後は、皆さまの声を聞きながら、本格運行をすべきかどうかの判断をしていくこととなります。ぜひ皆さまの声を寄せてください。

日本の経済は、緊急雇用経済対策



南島原市議会議長 日向義忠

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年、私はこの新年のあいさつを、「一陽来復」の兆しを期待して、と結びましたが、皆さまの周りにも「春（幸運）」は、めぐってきたでしょうか。

過ぎ去った年がどんな年であれ、私たちは希望を失わず、新しい年を歩んでいきたいものです。

同時に、毎日を忙しく過ごす中で、私たちは、ともしれば目先のことにとらわれがちですが、今一度、この区切りの時に、じっくり自分というものを振り返ったり、周囲の状況にも目を配りながら、新年に「思い」を新たにすることも、意義深いことではないでしょうか。

さて、早いもので合併後4回目の新春を迎えますが、これまで築き上げられた各地域の特性を最大限に生かしながら、南島原市としての一体感の醸成ができていくと実感しております。これもひとえに、市民、事業者、行政の連携による「市民協働のまちづくり」の精神のもと、ご尽力いただいた賜物と深く感謝いたします。

国内に目を向けますと、昨年は民意の大きなうねりの中で衆議院議員選挙を経て、「政権交代」が起こりました。

今後、新政権の舵取りを見極める必要がありますが、我々としても、市議会の中で議論を尽くし、将来の南島原市のあるべき姿をしっかりと見定めて、次世代から預かっているこの「ふるさと」を守り、充実させていくことが重要だと考えております。

近年の長い不況は、未だ収束する気配がなく、南島原市においても、雇用不安や経済不安など、さまざまな面で、地域力の低下が懸念されます。しかしながら、農林漁業者や商工業者、その若い後継者の話を聞く機会がありますが、それぞれに創意工夫され、地場産業の振興、ふるさ

と活性化のために頑張っておられます。本市の誇りであり、何とも頼もしく、私も将来の可能性を確信し、勇気がわいてまいります。

本市議会といたしましては、昨年「議員定数等調査検討特別委員会」を設置し、定数削減、議会活性化等について、自ら改革に取り組んでおります。

また、合併以降、南島原市では、「財政健全化」の掛け声のもと、さまざまな行財政の改革が進められております。しかしながら、そのような苦しい状況の中にあっても、本当に削減されるべきもの、残さなければならぬもの、その見極めが、大切だと思います。

それに伴い、地域のこととは、地域で対応すべく、その責任を負うという地方分権の時代にあって、地方議会の果たす役割はきわめて大きくかつ重要となっております。

市議会といたしましては、「改革」という言葉が独り歩きしないよう、市民の声に真摯に耳を傾け、舵取りを誤らないよう、市当局の動きをしっかりと注視してまいります。今後とも、議会運営にあたっては、皆さま方のご意見、ご要望を拝聴し、「市民の皆さまがより一層快適に住み、働き、憩うことのできる南島原市」の実現を目指し、議員一同、力

の効果はあったものの、今なお改善のテンポは鈍く、今後とも国内における雇用情勢の悪化やデフレ、円高が懸念されているところです。現在、進めております行財政改革をさらに推進し、財政基盤の強化を図り、その効果を直接市民の皆さまに還元できるよう、最大限努めてまいります。

これからも「市民の皆さまとの協働による南島原市の発展」を目指し、全職員とともに全力を傾注し、施策を推進したいと思っております。こんなときだからこそ、しっかりと地を足をつけ、堅実な市政運営に努めてまいりますので、皆さまの一層のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

を合わせ、一層の努力をしていく所存でございます。

どうか、市民の皆さまにおかれましても、今まで以上の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、昨年ほど「健康の大切。ありがたさ」を痛感したことはありません。

新しい年が皆さまにとって、ご健勝で、実り多い年でありますようお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。